

第 6 回総合計画審議会 議事録

日 時	平成 24 年 2 月 13 日 (月) 午後 3 時～午後 4 時 25 分
場 所	鹿沼市民文化センター 大会議室
出 席 者	委員 19 名 ※詳細別紙参照 佐藤市長、福田副市長、角田教育長、各部局長、企画課長、企画課長補佐及び企画係員
内容及び 結果等	<p>○ 開 会 《進行：金子企画課長》</p> <p>1. 会長挨拶</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 協 議 《議長：定めにより会長が行う》</p> <p>(1) 第 6 次鹿沼市総合計画前期 5 カ年基本計画 (案) について</p> <p>① パブリック・コメントの結果について</p> <p>◇ <u>別紙</u> に基づき事務局が説明。</p> <p>【質 疑】</p> <p>〈委 員〉 質問ではないが、パブリックコメントとはこんなものか？</p> <p>《事 務 局》 基本構想のパブコメは 0 (ゼロ) だった。</p> <p>〈委 員〉 それで良いと思っているか？</p> <p>《事 務 局》 決して良い状態だと思っではない。周知も図っているが、これが実態。</p> <p>〈委 員〉 県の計画でも全国的にパブコメは低調。今後今までと同じことをやっても同じなので、是非知恵を絞って対策を検討して欲しい。</p> <p>〈委 員〉 パブリックコメントに関連して、防災対策の件で、昨年度の震災では、自分たちが災害にあったのではなくて、外で災害が起きて、その避難者の受け入れとかが問題となった。是非この辺を盛り込んで欲しい。</p> <p>《福田副市長》 地域防災計画の考え方についてお話しする。現在の計画では、避難者の受け入れという点で記載がなかった。これは全国的な傾向であると思うが、2月中旬にはこの計画の見直しに着手する予定。</p> <p>〈委 員〉 パブリックコメントの 2 人目の 3 点目について。幸町緑町が発展した時期、特に木工団地・工業団地造成後、この地域の道路を拡張しなかった。そんなことから現在危険であるという意見だと思う。同感であるので是非拡張などをお願いしたい。</p> <p>《都市建設部長》 子どもの通学には、歩道を造るのが一番であるが、現状では拡張は厳しい。このようなことから、注意喚起のためのカラー舗装を施しているが、子どもたちも一列で通行するなど効果は出ていると思う。今後も対策は検討したい。</p> <p>〈委 員〉 防災関係での要望である。昨年の避難所での経験から、行政側での横の連携がとれるようなことを是非計画に盛り込んでほしい。</p> <p>《福田副市長》 地域防災計画の見直しの中で、ボランティアの運営状況なども計画に盛り込む予定。ご理解いただきたい。</p> <p>② 前回からの変更点について</p> <p>◇ <u>資料 1</u> <u>資料 2</u> に基づき事務局説明。</p>

→ [説明要旨]

- ・ **資料1**中1ページで、今まで未定であった計画の名称を「ふるさと かぬま『絆』ビジョンとした。
- ・ 基本計画は議決案件でもあり、本文3～9ページの部分を議案に併せてボリュームアップした。
- ・ 以降、**資料2**の項目を順次説明。
- ・ このほか、図面や用語解説などについて、中途半端な物を整理した。

【 質 疑 】

〈委 員〉 P23 のグラフで、件数の取り扱いはどうしているか？また、外国語指導助手の活用とはどのようなものか？

《角田教育長》 件数は延べの件数である。また、上の表で注目してほしいのは、欠席児童数が H17 の 178 件から 106 件に減少している。これが特徴。また、外国語指導助手は、市に現在 7 名おり、これを活用しようという意味。また、今年から外国語が必修となったことから外国人と日本人の担任が協働で授業をすすめるという意味。

〈委 員〉 P31 の放射能汚染対策が学校施設の安全確保にあるのであれば、保育施設にもあるべき。

《保健福祉部長》 ご指摘の点は、追加する方向で進めている。

〈委 員〉 了解した。もう 1 点。計画書では「障害者」の表記であるが、害を平仮名で表記している例もある。この辺をどう考えるか？

《保健福祉部長》 障害者の表記はどちらもある。今回は漢字の害を使用した。

〈委 員〉 区分が難しい時は「ハンディキャップ」と表記する場合もある。

〈委 員〉 P75 や P83 ページのグラフについて。これはカラーになるのか？また、グラフ内にデータの記載がないものなどまちまちのような気がする。この辺の考え方は？

《事 務 局》 グラフは最終的にカラー表示になる。また、データの表記については、わかりやすくするよう、必要に応じて記載する。

〈委 員〉 P130 の地積調査について。この事業が位置付けられて非常に心強い。しかし、山林の境界は曖昧な箇所が多く、さらに、境界がわかる人間が減少している状況では、とにかく早めに対応して欲しいが、どのようなスケジュールを考えているのか？

《事 務 局》 地積調査は、お金と人と時間が非常にかかる。まずは前期 5 か年でどのように進めるかの体制整備を検討し、具体的には後期計画で検討となる。

〈委 員〉 パブコメの件で、2 人目の (1) 地域密着のパートナーとはどんな人を指しているのか？

《市民部長》 現在、何カ所かのコミセンでコミュニティアドバイザーという制度を活用している。これをさらに拡大して欲しいということだと思う。

〈委 員〉 先日社会福祉協議会の事務局長が、職員に、A さんはこの地区、B さんはこの地区と割り振って地域福祉を推進するようにと話していた。そのようなことか？→市民部長が頷く。

〈委 員〉 資料 2 の買い物弱者支援対策で、二つの事業の中に推進と検討という言葉が使われている。特に検討というのは 5 年のうちに検討だけするのか、

その辺の使い方を伺いたい

《保健福祉部長》まず、買い物支援策の推進については、モデル地区を設定し現在アンケートを採る準備をしており、具体的に進めているので推進とした。検討については、皆さんの意見をこれから聞いて進めるという意味で検討としている。

〈委員〉これは前期5年間にやるという意味か？

《保健福祉部長》買い物支援策は既に着手している。買い物難民はなるべく早く事業化したい。

〈委員〉モデルの3地区とは？

《保健福祉部長》旧ベトナム地区。7町内くらいある。このほか粕尾地区と加蘇地区。

〈委員〉P135からの部分で、地元の祭りだけで終わるのではなく、例えば外国人を鹿沼に呼び込んで屋台を見せるとか、どうしたら鹿沼によって頂くかなど具体的に考えているか伺いたい。例えば日光に行く人を鹿沼でおろし、バスで日光に向かわせるなど。地元の関係者を集めてこれからどうすべきかなどの意見を聞くような場を設けることなどを考えているか？

《経済部長》まず外国人の誘客について、東武鉄道とはスカイツリーの関係などもあり、具体的にはこれからであるが提案を含めて当然連携したい。また、以前ご意見のあった観光施設の外国語による案内表示を考えていきたい。それから来年は韓国順天市の博覧会にも出展することになった。アジアに向けてのPRもそのイベントなどを通して行っていきたい。また、関係者の意見を聞く場の設定は是非検討したい。国内のPRは「かぬまファン」などの制度も創ったのでこれらも活用して行きたい。

〈委員〉お願いとして、サツキが世界的に関心が出てきている。そんな中、ホームページも外国語版を作るべき。

《経済部長》当然海外に向けてのPRはホームページが一番のメディアだと考えており、これも活用したい。

《事務局》このほか東武鉄道との連絡組織として東武日光線協議会がある。まさに広域的な連携策を検討している。

〈委員〉観光PRについては、行政が考えるよりも、企業や民間の人が入った協議会など、積極的に活用して欲しい。

〈委員〉P102企業誘致重点地域図面とあるが、どんな図面か？

《経済部長》これはさつきロード周辺の企業誘致重点地区をはじめ、既存の工業団地を含めてこの地域に重点的に企業を誘致したいということを示す図面を考えている。

〈委員〉併せて用途の見直しも含めて検討しているのか？

《経済部長》かつてのような用途を変更して工業団地を大規模に造成するのではなく、誘致企業の要望などにあわせ、開発指導をするなど、これを重点的に誘致し、スピーディーに誘致できるような方法で地区を設定したい。

〈委員〉話を聞くとどうしてもインター周辺となってしまう。西の山間部には広大な土地があるので、これらへの誘致も考えて頂きたい。

《経済部長》ここでは、工業団地などに立地すると思われるような企業を中心に考えているが、これから農林業などに由来する企業などの誘致があるかもしれない。また、現在農業振興計画を策定するので、この中に耕作放棄地対策やその他地域の活性化などの視点も入れて、これらが達成できる地域においては企業の誘致なども盛り込んでいきたい。

〈委員〉原発事故に端を発して、自然エネルギーへの関心が高まっている。また、バイオマスエネルギーの活用など、この計画で推進するのかもしれないか？特に太陽光発電は広大な面積を要するので、西北部の耕作放棄地など活用が可能である。どうか？

《環境部長》P112 上段に資源とエネルギーの活用が記載している。この中で太陽光などはクリーンエネルギーと呼ばれており、原発事故以降関心が高まっている。このようなことから今後も活用を図りたい。太陽光については、県が主体でメガソーラーの誘致を図っており、鹿沼でも南押原の土地が有力と聞いている。西北部でも有効と思われるが、土地から送電線までの距離などで費用がかかると言われており、現状では厳しいと思われる。また、バイオマスについても本市は林地が広いので活用を図りたい。

〈委員〉P38 生涯学習大学受講者数がある。そこで栗野高校を生涯学習大学として施設を活用したらどうか？

《角田教育長》まず栗野高校は県の施設であり、栗野第1小学校の仮校舎として使用しているが、今後それらの意見を参考に検討したい。

《石川委員長》それでは質問も出きったと思われるので、お諮りしたい。第6次総合計画はこの内容で承認してよろしいか？

→ 異議なしの声。

《石川委員長》それではそのように決定する。次に（2）その他①今後のスケジュールについて事務局の説明を願う。

◇ 事務局の説明。

【質疑】：特段なし。

《石川委員長》※本日で審議終了のため、そのお礼のコメント。

《福田副市長》※今までの熱心な審議についてのお礼のコメント。

《石川委員長》以上で全ての審議を終了し、議長を退く。

○ 閉 会 《進行：金子企画課長》

以上、終了午後4時25分